

…また、わーのどごろさ、来でくれる？

く君の推しは私だけ？ご当地アイドル凜との秘密のラブラブトーク♡

■ track 1 憧れのローカルアイドルと生電話

【宇佐美 凜】

…あ、もしもし。急にごめんね
私のこと、誰か…分かる？かな
うん！、そのまさか…です！

ローカルアイドル『リトルホワイトスターズ』の、宇佐美 凜だよ。
ご当選、おめでとーございまーす！

CDについてた生電話の応募券で、申し込んでくれたんだよね？

…他のメンバーじゃなくて、私、だけに。

ふふ、いつも応援、ありがとうございます

うん！、君にはいっぱい勇氣、貰っちゃってます！

…ほんと、だよ？

あの時、初めてラジオ出演した時も。

ずっと緊張しちゃって…足が震えちゃった。

この前のライブの時だって…。

君の応援があったから、辛くても、不安だった時も…今日まで頑張ってたから
…ごめんね！急になまっちゃって。なんか、気が緩んじやって。

…あ。ありがとう、そう言ってもらえると、嬉しい！

ねえ、他のメンバーより目立たない私のこと、こんなに推してくれる人って
君くらいだよ？

他に可愛い子がメンバーに沢山いるのに…どうして？

あ…ご、ごめんね！ そんな事言っちゃ、ダメだよね。

せっかく私の事応援してくれてるのに。

忘れて！ 今の話、聞かなかった事にして！

…そう言えば、イベントで直接話したことは、結構たくさんあったよね…

電話で話すのは、なんだか…不思議な感じ…だね

君の声が…近くから、聞こえて…

…あ、私の声も…そう、だよね

その、ファンの人と、こうやって話したのは初めて…だから。

ちよっと、緊張しちゃってる…かな。あはは

…あ、何か私ばかり喋っちゃって、ごめんね。

何か、話しておきたいこと、ありますか？

…うん……そうなんだ。…ふーん、ははっ！ そうなの？

…あ、その。

こほん。

いつも応援、本当にありがとうございます。

これから、ご期待に応えられるように、一生懸命頑張りますっ！

…あ、もう時間みたい……

うん、次のイベントでも、絶対会いに来てね！

…うんっ、私も待ってるから、忘れないでね？

……ほんとは、もっとお喋りしていたかったんだけど…もう、切るね…

……それじゃ、また会場で。

ライブでは、君だけに目、合わせちゃうからね！。

ふふ。私だけじゃなくて、私の歌もちゃんと聞いてね。

じゃあね！

■ track 2 喫茶店で偶然アイドルと…

【宇佐美 凜】

わ…どこも混んでる…

ああ…えっと、アイスコーヒーを一つお願いします

…あ、はい。カウンターで、大丈夫です

…んー、あ、端の方…一つ空いてる

…えっと、隣…失礼しますね

んー…イヤホンは…

ああ、あった

…あれ、なんか音量が…あれ！？ 繋がってない！？

嘘っ、えっと、あれ…っ

あ…うう…っ。その、すみません。イヤホン…繋がってなくて…音が…

…あ、はい、ワイヤレスなので…

…え、あれ？ どうして私のこと…ああ、もしかして…っ

…ふふ、偶然ですね。まさか、こんなところで会えるなんて…

…ああ、ううん、プレイベートとか気にしなくても大丈夫。

一応、帽子被ってたんだけど…すぐ、ばれちゃいましたね。

…ああ、なるほど。さっきの歌声で…。なんか、照れちゃうな…。

きっと、今の姿で私なんかのこと分かるの、君くらいだよ？

だって、そんなに人気…ないから

こうやって気づかれたのも、今日が、初めてだし…

も、もう…そんなこと、ほんとにないって…。

この帽子も、事務所から言われてるから一応被ってるだけで…

…あ、えっと。…なんか、この前も、ごめんね。

…私の家、お母さんが良く喋ってるから…。言葉遣い、移っちゃって…変だよな。

…君は、方言でないの？

…そっか、やっぱり身近にそういう人がいないと、標準語、ですよな…

…ああ、いえ、別に鈍るのが嫌なわけじゃないんだけど。

…ただ、あんまり方言が濃いと、相手に何言ってるか伝わらないし…

昔、喋り方のことで、色々言われたから…

え、可愛くなんて…ない、よ。

クラスメイトも、私みたいな話し方してる子、いないし…

…うう、そんなに…良い、の？

じゃあ…君の前でなら。普通に…喋っちゃうね！

きっと、何て話してるか、分からないこともあると思うけど…

…ええ？ そんな、可愛いからって大丈夫じゃないよ。

そもそも可愛くないし…

…でも、こっちの方が…落ち着く。

いつもは、ずっと敬語で話してるから…少し疲れちゃって

今は、とっても楽な感じ…する。君のおかげ。えへへ

あ、そういえば！。この前は電話で話せて、とっても楽しかったよ！

嬉しい言葉も、いっぱい聞けて…。実は最近、ちょっと悩みて言うか…

不安に思ってたこともあったから。

君のおかげで、また頑張れそう

…あ、内容は…えっと。君になら…話しても良いかな

今度ね、地元のホールで新しい歌のライブイベントをすることになったの！

あ、良く分かったね。

そう、さっきの新曲…歌うから、上手くできるかなって…

いつものステージより、おっきなところだし

私たちのグループって、ソロがメインだから。

ライブの時、いつも緊張しちゃって…

いつもの応援がないと、私…。

え、ほ…ほんとに？ 今度のライブ、来てくれるの？

わあ…嬉しい！

私…アイドルなのに、励まされてばかりだね…

そんな、迷惑とかじゃないよ！

ライブの前とか、いつもファンレター読み返してるし…。

SNSでも、コメントしてくれて…

もちろん、会場でもね。

声援が、わあ…って届くと 今日大丈夫、頑張ろう」ってなれるから

…それでも、音外しちゃったり、声裏返ったり…しちゃうんだけど

私…皆に元氣いっぱい貰ってばかりだよ

私からは、全然…届けられなくて

…そう、かな。

私の歌とか踊りで、元氣になったり、楽しいって、なる…？

そっか。ありがとう

皆、そう思ってくれてるって、分かってはいるんだけど、自分に…自信なくて

…ダメだよ

たくさん練習して、これからもファンの皆に、いっぱい返せるように頑張らないと

えへへ…特に君には、もっとお礼っていうか…。

色々してあげたいんだけど。

何か、私にできること…あるかな。

せっかくこうして会えたから…んー、サインは、もう持ってるよね

他には…えっと…

あ、さっきの新曲は…。

やっぱり、ライブ会場で聴いてほしいかな。

…うん、そこで初披露するから

んー、じゃあ…サビのところを、ちょっとだけね
さっきみたいにならないように、ちゃんと設定しなくちや。
うん、これで大丈夫。

こっちのイヤホン…耳にはめてみて。
…え？ だって…ここで流すわけにいかないし…。
私のイヤホンじゃ…だめ？

あ、逆に嬉しいんだ。ふふ
じゃあ、はい。耳の中に入れちゃうよ…

…えっと、こんな感じなんだけど…どう、だった？
良かったあ！ちゃんと、私らしい曲になってたんだ
…その、レコーディングで、何回も失敗しちゃって…。
とっても、大変だったから…
君にそう言ってもらえて、自信…ついたかも。

うん、ついた！ えへへ
…あ、もう行っちゃうの？
…そっか。じゃあ、次に会えるのは…

握手会、だね
…また、私のところに、来てくれる？
…ふふ、ありがと
君が来るの、楽しみに待ってるね！

■ track 3 握手会と秘密の囁き

【宇佐美 凜】

あ、こんにちはー！。

今日はミニライブと、握手会にお越しいただいて、ありがとうございます！

…なんて、皆にはそんなふう言ってるんだけど

君にだけは、普通に喋るって、この前決めたから…ふふ

ありがとう、ほんとに来てくれたんだね。

それも、最前列で、びっくりしちゃった。

あんなにたくさん、休まないで応援してくれて。本当、嬉しかった。

…私、今日も緊張しちゃったけど。君のおかげで、頑張れたよ

ほんと、何回ありがとうって言っても、全然足りないくらい。

…もっと近くで…お礼、言いたいな

今日は、個室の握手会だから。

他のファンも、スタッフさんのことも気にしないで、私と話せるんだよ

…だから、もっと…こっちに来て？

…あ。ふふ

こんなに近いのって、もしかして…初めて、かな

…うん、私は全然大丈夫だよ

緊張っていうよりも…んー、なんだろう。ドキドキ…かな

こんな距離で話せることなんて、滅多にないし。

あ、そうだ。…えっとね、もっと近い距離で話せる方法、思いついたんだけど…

…え、ち、違うよっ？

それじゃ、ぶ、ぶつかっちゃうよ

…だから、正面じゃなくてね？

…こうやって、君の隣に行けば…

もっと近くで…話せるよね

…あ、これ…思ってた以上に、恥ずかしいかも

違うよ！ こんなこと、他の皆にはしてないから！

…君にだけ。

特別に…ね。ふふ

いつも、応援してくれて、ありがとう

君の声があるから、私…いつも頑張れる。

最初は、不安なことも多くて…。今も、それは変わってないかもしれないけど…

あの頃より、馴染んでるような気がする…

私と…アイドルって、言葉

…今日の握手会もね、君や…ファンの皆が、良い人ばかりだから…

叶えられたんだよ。

…やっぱり、アイドルとは…近くで触れ合いたいよね

私も、歌やアイドルが大好きだから…気持ち、分かるんだ。

まさか、自分になるとは、思ってたけどね

え、そう…かな

でも、私だけの力じゃなくて

君と…ファンの皆が、私をアイドルにしてくれたんだよ？

本当に、ありがとう

…あ、そう言えば…そうだった！。ごめんね！

これ…握手会なのに。

せっかく、CDたくさん買ってくれたんだもんね。

ちゃんと、ぎゅってしなくちゃ

…ん、離れないで、じっとしてて。

ぎゅううう

…はあ、やっぱり…まだ、恥ずかしいね

やっと、この近さに慣れてきたのに。…んっ

握手もすると…全然、違う…

…ん、あ…でも、君の手…あったかくて。ほっと…する

あの、もし良かったらで、良いんだけど…

君からも、両手で…包むようにして。

ぎゅって…してほしいな

その方が、あったかいと思うから

…ん、あ…

手、大きいね…

…ん、はあ…ん…

…え？ くすっ…。だから、他の人とは、こんなことまで…してないって。

…もしかして、嫉妬…しちゃった？

…ふふ、そっか。なんか…嬉しいかも

だって、それだけ私を…意識してくれてるって、ことでしょ？

…私もね、君のこと…いしき、してるよ

…ふふ。本当だって。もう、疑り深いなあ。

信じて？ね？

…あ、そろそろ時間きちやう！

…最後にチエキ、一緒に撮ろう…？

……んー、ワンショットも良いけど…

私は、君と、二人の方が…良いかな

……ふふ、じゃあ…ツーショットで、ね？

えっと…カメラは…ああ、あった

さっきは左の方だったから、今度は右隣で…良いかな

…あ、手、ぎゅうってして…。

ふふ、笑顔…少し硬くなってるよ

いつも、私のこと、応援してる時みたいに…にっこりで笑顔で…

はい、チーズ

うん、良く撮れてる。…じゃあ、もう二枚目も

はい、チーズ

…ん、ちゅっ

…あ。いきなりで、ごめんね。

ほっぺに…しちやった

…でも、この気持ちには…いきなりじゃ、ないよ？

今度は、偶然じゃなくて。またプライベートの時に会えたら、嬉しいな

これ、私の連絡先。

…もちろん、いけないこと…だから。秘密…だからね？

呟いたりしちやダメだよ

ふふ。約束、ね

■ track 4 2人だけのカラオケデート

【宇佐美 凛】

いつか

夢見るキミとの未来

追いつけないよ

贅沢な感情 ココロに鍵をかけた

いつかは

いつかは

好きって言えるかな？

I treasure you

I treasure you

I treasure you

キミにちゃんと言える時まで

自分の曲でも、君の隣に座って、こんなに近くで歌うのって…
やっぱり緊張するな。えへへっ。

昨日、連絡先交換してから、こんなに早く誘ってくれるなんて

君、案外積極的なんだね。ふふっ

私の持ち歌を生で聴きたいなんて。本当、私のこと好きだね

……違った？

冗談だって！

今日は折角カラオケに来ているんだから、君も一緒に歌おうよ。ね？

ほら、マイクも二人分あるし…はい、どうぞ。遠慮しないで、ほら！

私は、君と一緒に歌いたくなって…そう思ったの。

さあ、もうすぐ間奏が終わって、また曲が始まるよ。3、2、1！

どちらも大切なのに 2つは選べなくて

夢見るキミとの未来 追いつけないよ

恋だと知っても 気持ちは変わらない

だけど

好きって言いたい キミだけ
目で追ってしまうの
言葉が笑顔が全てが宝物だよ

いつかは
いつかは

真っ直ぐに伝えたい

I love you
I love you
I love you

キミにちゃんと言える時まで

どんな未来になっても

ふふっ。流石だね。2番の歌い出しタイミング完璧だったよ。
ちよっと、休憩しようか
そっか。いつも私の曲、聞いてくれてるんだ。ありがとう。

嬉しいな。私なんてメンバーの中でも目立たなくて、地味なのに。
そんな私の持ち歌を聞いていてくれるだけでも嬉しいのに、覚えていてくれる人がいて。
君が私のファンでいてくれて、本当に良かったなって…そう思う。

それにしても、こうしてカラオケに来て歌うの、随分と久しぶり…

…学生時代以来かも。君は、よく来るの？

そうなんだ

普段はね、舞台上で歌ってるから、2人だけでカラオケの個室だと妙に緊張しちゃう。
やっぱり、君との距離が近いからかな？

さっきから、すぐドキドキしてるの。

でも、傍で私の歌が聞きたい”って言うってくれた事、すごく嬉しかった。

だって、いつもライブで聴いてくれてるのに、せっかく私と会う機会が出来ても…
純粹に、そう願ってくれたって事。

本当に、嬉しかったよ。

ねえ、その…他にはないの？ 私にして欲しい事。

私に出来る範囲の事なら、遠慮しないで、何でも言って！ 私、精一杯頑張るから！
はっ、ごめんね！

ちよっと顔近かった、かな。

いつも私を応援してくれる君に喜んで欲しくて、つい。

嫌じゃ、なかった？ 本当に？

どうしよう…ずっと恩返ししたいって思ってるのに、ダメだなー。

私…君に色んな思い、貰ってばかりで。何も返せてない。

そんな事ない？

本当に？ …うん、ありがとう。そうならいいなあ。
で！。私にして欲しい事、決まった？

膝枕で、自分を褒めて欲しい？ それでいいの？

…いいよ。さあ、どうぞ？

誰かに膝枕するなんて初めてだから…高さとか大丈夫？

首痛くない？

ふふっ。心地いいなら良かった。…折角だから、頭も撫でていい？

はーい。任せて。

君が頑張っている事、私ちやーんと知ってるよ？

いつも一緒にはいられないけれど、目を見てれば判るから。

真っ直ぐで、芯の強い人だって。

でも、頑張り過ぎて倒れないかなって、ちよっと心配。

だから、たまにはこうして休むことも必要だよ。また膝ならいつでも貸すから。ね？

あれ？ もしかして寝ちゃった？

ふふっ。よっぽど疲れていたんだね…

お疲れ様。

目が覚めるまで、ずっとこうしているから…今は、ゆっくり、休んでね。

ああ、でも…離れるのは淋しいな。もっと一緒にいたいなあ。

…ん、ちゅっ

【宇佐美 凜】

今日は私の家に来てくれて、ありがとう。

そんな、お礼なんていいよ！

君が嬉しいって思ってくれてるなら、私も嬉しい。

あの後、思い切って誘って良かった。

眠くない？ ごめんね。疲れてたんでしょ？

じゃ、どうぞ…っていつても、特に、面白い物はないと思うよ。

あのね。

男の人を部屋に招待するのって、初めて、なの。

今も私の心臓の音、いつもより早くて、大きくて…すごドキドキしてる。

君に、この鼓動が聞こえちゃうんじゃないかって。思うくらい

あ、ソファーに座って、ちょっと待ってて。

今、お茶を淹れるから。

あ、この子？ 私、猫飼ってるの。飼い始めたのは、一人暮らしを始めてからだけど。

誰もいない淋しさとか…まあ、色々かな。

私、一人だと延々とマイナス思考になっちゃいそうだから。

アイドル始めた頃、ネットで自分の悪口書かれてるの見つけちゃって。

それではばらく沈んだの。

それでね、仲の良いメンバーに相談したら、

ペットと一緒に暮らしたらどうかって勧められて。

でも珍しいな…。

私以外の人に懐くなんて…

…他の娘が遊びに来た時なんて、

いつもなら怖がってベッドの下に逃げ込んで隠れてるのに。

ふふっ。きつとこの子にも君が良い人だって、わかるんだね。

膝の上に乗って、頬擦りしながら喉をゴロゴロ鳴らしてる。

ほら、動物って、相手の性格を感じ取って聞いたことない？

この子と私が、似てる？ そ、そうかな？

そう思われると、なんか急に恥ずかしくなってきた。

うーん。ペットは飼い主に似るってよく言うけれど…やっぱり本当なのかな？

…でも、くすっ。今ちょっと、この子が羨ましいかも。

君に頭を撫でて貰って、膝の上で思いっきり甘えてるんだもん。

この子の事は好きだし、大切な家族みたいに思っているけれど、

なんだか、独り占めしてるみたい…

ずるいなー、せっかく私の家に来たんだから、もっと私の事も構ってよー。

あ、ご…ごめん。ちょっと馴れ馴れしかった、かな？

本当？ありがとう。

外で話すのは、ちょっと恥ずかしいし：

あんまり話し上手な方じゃないから。ライブのMCとか、よく囃んじやうでしょ？

私ね、地元で事務所の人にスカウトされて『アトルホワイトスターズ』として、活動してるでしょ？

でもね。今のローカルアイドルになる前、一人で駅前とかの路上でよく歌っていたの。今でもアイドルとしての活動は好きだし、楽しいよ？

レッスンは少し厳しいけれど、それでも、早く一人前のアイドルになりたいって思う。でもね、やっぱり……いつか自分で作った曲と歌詞を歌いたいなって。

昔の夢を諦めた訳じゃないの。

私の原点は、その夢があったから。だからあの時、ずっと路上ライブしていたの。無名の私の事なんて、誰も知らない。

気にも留めず、ただ足早に私の前を通り過ぎていく人が殆どだった。

……でもね、そんな誰も足を止めてくれない中で

唯一、ちゃんと私の歌を立ち止まって、聴いて、拍手をしてくれた人がいたの。

見た目じゃなくて、私の歌に惹かれてずっと曲を聞いていてくれた事、誰もいない日も、いつも一人で見に来てくれていた事、

最後まで歌を聞いてくれて感想を言ってくれたくれた事……

……すごく嬉しかったし、感謝してる。

その人がいてくれたから、私は今こうして歌えているんだって思う。ううん、実際そうだもん。

あの時は、直接言葉を交わした事はなかったけれど、ずっと気になっていた人。それが、君なんだよ。私の初めてのファンになってくれた、大切な人。

君の存在が、いつも私を励まして、支えてくれたの。

ずっとお礼がいたくて、いつも、いつ言おうか、いつ話そうかって考えてた。必要ない？

でも。それじゃ、私の気持ちがおさまらないの！

君は私を勇気づけてくれただけじゃない。

初めて、好きになった。……存在だから。

気づいたときには、君を意識するようになってたの。

まだ来ないかな。今日は、来てくれるかな。

いつも君を待ってる気持ちに私自身が、気付いちちゃった

それは、今も変わらないよ？

だから、今夜は私と一緒に過ごして欲しいの。

その……ダメ、かな？

■ track 6 ライブ開始前

【宇佐美 凛】

昨日は、私のお願いを聞いてくれてありがとう。
…すごく嬉しかった。

家でゆっくり人の目を気にせず、二人きりで過ごせて、楽しかったよ。
あの時、路上で歌っていた時からずっと、君に伝えたかった言葉も
全部聞いて貰えて良かった。

もうすぐライブが始まるって言う時に、急に電話掛けちゃって、
…ごめんね。

ハウスの裏口まで来て貰っちゃって。

昨日、あんなに勇気をもらったばかりなのに…

こうして君が傍で支えてくれるから、今も私はアイドルでいられるんだと思う。
ううん、全然、大袈裟なんかじゃないよ。本当だよ？

…ありがとう。あの頃から、今でも私のファンでいてくれて。
手の震え。止まない。

…何度ステージに立っても、実際にステージに上がる前は、
どうしても不安になったりして。

…胸が押し潰されそうになっちゃう。

ライブ中にマイク落したりしないかなって考えちゃうの。

失敗するんじゃないかって、

メンバー皆の足を引っ張っちゃうんじゃないかって思うと不安ばかり。

…こんな事、君にしか打ち明けられなかったから。

…私の手、握って温めてくれるの？

ふふっ。君の手、大きくて暖かい…

…こうされていると、少しずつ不安が嘘のように消えていくみたい。

まるで魔法だね。とても優しい魔法…

…こうして触れて貰っていると、すごく落ち着くし、安心する。

優しい温もりを、私に分けてくれてありがとう。

うん！だいぶ落ち着いてきた。

ちゅっ。

…これは、元気をくれた、お札のキス。

今の私に出来るお札は、これくらいしかないから。

あっ、そうだ！

…はいこれ、君にプレゼント。

うん、これね、いつも私が身に着けているネックレスなの。

大切なお守り。だから、これは君が持っていて。ふふっ、目印だよ。普段は、見えないように隠れてるから、誰も知らないの。

これがあれば、どれだけ人が密集していても、ライブハウスのどこに君がいても、必ず私が貴方を見つけるから。

…大切な物だからこそ、君に身に着けていてほしいの。

二人だけの、秘密の目印だよ

…うん、元気出てきた！

それじゃあ、行くね！今日のライブも、楽しんで行ってね！

■ track 7 機材トラブル

【宇佐美 凜】

あれ？ どうしたんだろう？ 曲が…止まっちゃった？
まだライブの途中なのに…
どうしちゃったんだろ？ すみません！ちょっと失礼します！！

もしもし、ごめんね！急に電話して。

よくわからないんだけど、機材トラブルで復旧するまで時間が掛かっちゃうみたいなの。
それでね、さっきマネージャーに言われたんだけど。

私に、MCで繋いでくれて。

急にそんなこと言われても…

さっきMCコーナー締めたばかりでしょ？

なんでもいいから、トークで場を繋いでくれて。

もうどうしていいか分かんなくて、思わず電話しちゃったの。
今？今はまだ、準備とか必要だから10分だけ休憩時間なの。
ねえどうしよう！

他のメンバーは皆無理って誰も変わってくれないの！

私、ただ端っこで歌っていただけで、リーダーでもないのに

…こんな目立つ大役…

…プ、プレッシャーで…せっかく、励まして貰ったばかりなのに。

深呼吸？…う、うん。

すーっ…はーっ…すーっ…はーっ。

って、緊張しすぎて全然効果出ないよ！

私が、思う通りに？

でも、何を話したらよいか分かんないよ！

…夢、私の夢は。

皆に、歌を届けたい。何もなくても、私の歌を聞いて欲しい！
う、うん！分かった。何とかやってみるね！

ありがとう

届いてるよキミからのエール

精一杯 歌うよ

トクベツを返したくて

今 好きって言いたい キミだけ
目で追ってしまうの

言葉が笑顔が全てが宝物だよ
ドキドキ止まらない
早く気付いて欲しい

I miss you
I miss you
I miss you

キミとワタシの夢、守るよ

…ん、すう……はあ。すうう……はあ

皆さん！長らくお待ち致しました！！

■ track 8 ライブ終了後・雨宿り

【宇佐美 凛】

はっ…はぁ…ごめんね！ 待たせちゃって！ はぁ…はっ。
ライブの打ち上げ、抜け出すのにちょっと時間がかかったやつて…
…いつもなら、こんな時間にならないんだけど…
機材トラブルで終演時間も押しちゃったから。

今日は、本当にありがとう。

君がいなかったら、今日のライブ、失敗してたかも。

マネージャーやメンバーの皆にも、褒められちゃった！

…これも、君が私に勇気をくれたおかげ。

時間もつたいないし、ちよっとだけ夜の街を一緒に歩こう？

大人のおさんぽデートだね。

こうやって、人がいない静かな街を二人で歩いていると

まるで世界に私達しかいないみたい。

世界に響く、私の歌…君だけの為に贈る歌。

ふふっ…そういうのもロマンチックだよね？

君も、そういうのが好き？ 似てるのかな？ 私達。

あっ…雨。今朝、天気予報じゃ、この時間はまだ降らないって言ってたのに。

今日は外れちゃったね。

あーあー。せっかくお散歩デートしてたのに。

雨宿りできる場所…この辺、コンビニとかないし。どうしようつか？

ファミレスやバーとかは結構遠いし…

…ここから一番近くて雨宿りできそうな場所っていったら…

…やっぱり、ここしかないよね。あまり、見ないようにしていたんだけど

だって！ だってラブホだよ!?

私、今日の下着とか全然可愛くないし！

君には…君だけには、一番可愛い私をいつも見ていてほしいの。

雨、強くなってきたね…どうする？

私は、君と…もっと一緒にいたい。

だめ？

うん！、行こう！

【宇佐美 凛】

やっど雨、止んだね…

…結局、止まらずに一晩中降っていたみたいだね。

それにしても、朝早いこの時間帯も、やっぱり人いないね。

一晩中、一緒にいても、もっと傍にいたいって思っちゃう。

君は、これから仕事？

そっか…淋しいけど、また会えるよね？

ふふっ、約束だよ？

あっ、見て。ほら、向こうの空！ 虹が出てる！

まだ出てそんなに時間立ってないのかな？

どの色もくっきり見えて…すごく綺麗！

知ってる？

好きな人と一緒に虹を見る事が出来たら、両想いになれるんだって！

素敵だと思わない？ それとも、こういう話、ちょっと…子供っぽい？

君らしいね…って、ねえ、それって結局どっち？

どっちなの？

…むー。上手くはぐらかされた感じがするー。

君と一緒にいると、自分がアイドルだっていう事を忘れて、素の自分が出ちゃうな。

アイドルじゃなくて、一人の女の子として私を見て欲しいって思っちゃう。

でも、今だけはいいいね？ ここはステージの上じゃないんだから。

また、一緒にカラオケ。行こっか？

今度は、君の歌っている声も、聴かせてね。